

## 2012 年度 小委員会活動成果報告

(2013 年 2 月 26 日作成)

小委員会名	都市と気候適応小委員会	主 査 名：大岡龍三 就任年月：2011 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	地球環境委員会	委員長名：小玉祐一郎 主 査 名：
設 置 期 間	2011 年 4 月 ～ 2013 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>ヒートアイランドは多様な要因が複雑に絡む現象であり、対策を推進するに当たっては気候変動への適応策を含め発生メカニズムの解明と対策技術の立案を行う必要がある。本小委員会では多様な要因、スケールで生じるヒートアイランド現象のメカニズムの検討を行うと共に、適応策の視点を含めて行政・自治体等の社会事業に役立つ効果的な方策を提案する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2011 年度：小委員会課題設定</li> <li>・2012 年度：課題設定に基づく検討</li> </ul>	
委員構成 (委員名 (所属))	<p>委員公募の有無：</p> <p>大岡龍三 (東京大学), 吉田伸治 (福井大学), 足永靖信 (国総研), 一ノ瀬俊明 (国環研), 近藤裕明 (産総研), 下田吉之 (大阪大学), 成田健一 (日本工大), 持田灯 (東北大学), 渡辺浩文 (東北工業大学)</p>	
設置 WG (WG 名：目的)	<p>GCM を活用した近未来標準気象データの作成 WG：大気循環モデル(GCM)による 30-50 年後の地球規模の気候変動予測値を出発点とし、領域気象モデルによる高解像度な将来の気象解析を行うことで、日本の主要都市における近未来の標準気象データを作成することを目標とする。</p> <p>東アジア諸都市のヒートアイランド対策ガイドライン検討 WG：東アジア (日中を中心とする) の代表都市におけるヒートアイランド対策のための国際的なガイドラインを提案することを目的とする。</p>	
2012 年度予算	100,000 円	ホームページ公開の有無： 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	3 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	<p>1. 地球規模の気候変動を考慮しなければならない時代において、都市の気候変動とそれに伴う都市の在り方について検討項目を抽出できた。</p> <p>2. シンポジウムの開催は来年度の持越しとなった。</p>
委員会活動の問題点 ・課題	

